



OPTEX

2023年12月期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2024年2月14日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2023年12月期決算概要

2. 2024年12月期業績予想

3. 3カ年（2024-26年）の経営計画

4. 新体制について

2023年12月期決算のポイント

2023年度 実績

連結売上高は前年度比+3%の563億円となり過去最高を更新。

SS事業：国内は主要顧客向けが堅調拡大。海外向けはインフレ影響下も底堅く推移。

IA事業：MVL関連は国内の半導体・電子部品向け、EV関連向けが堅調拡大。

FA関連は中国の設備投資抑制の影響が継続するなど低調に推移。

連結営業利益は前年度比-6%の59億円と減益。

積極的な営業活動、販売促進の強化、為替の影響、国内外の物価上昇等により

販管費率が1ポイント上昇。

2024年度 通期業績予想

連結売上高610億円、営業利益66億円と過去最高業績の更新を目指す。

SS事業、IA事業共に本格的な市況の回復局面に備えた成長戦略を着実に実行。

2023年12月期 連結決算 総括

経営成績 (単位:百万円)	2022/12期 実績	2023/12期 実績	増減額	増減率
売上高	54,811	56,372	+1,561	+2.8%
営業利益 (営業利益率)	6,303 (11.5%)	5,899 (10.5%)	-404	-6.4%
経常利益	7,042	6,258	-784	-11.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,752	4,608	-144	-3.0%
1株当たり 当期純利益 (円)	133.79	129.73		

為替レート (円)	1USD	131.43	140.56
	1EUR	138.04	152.00

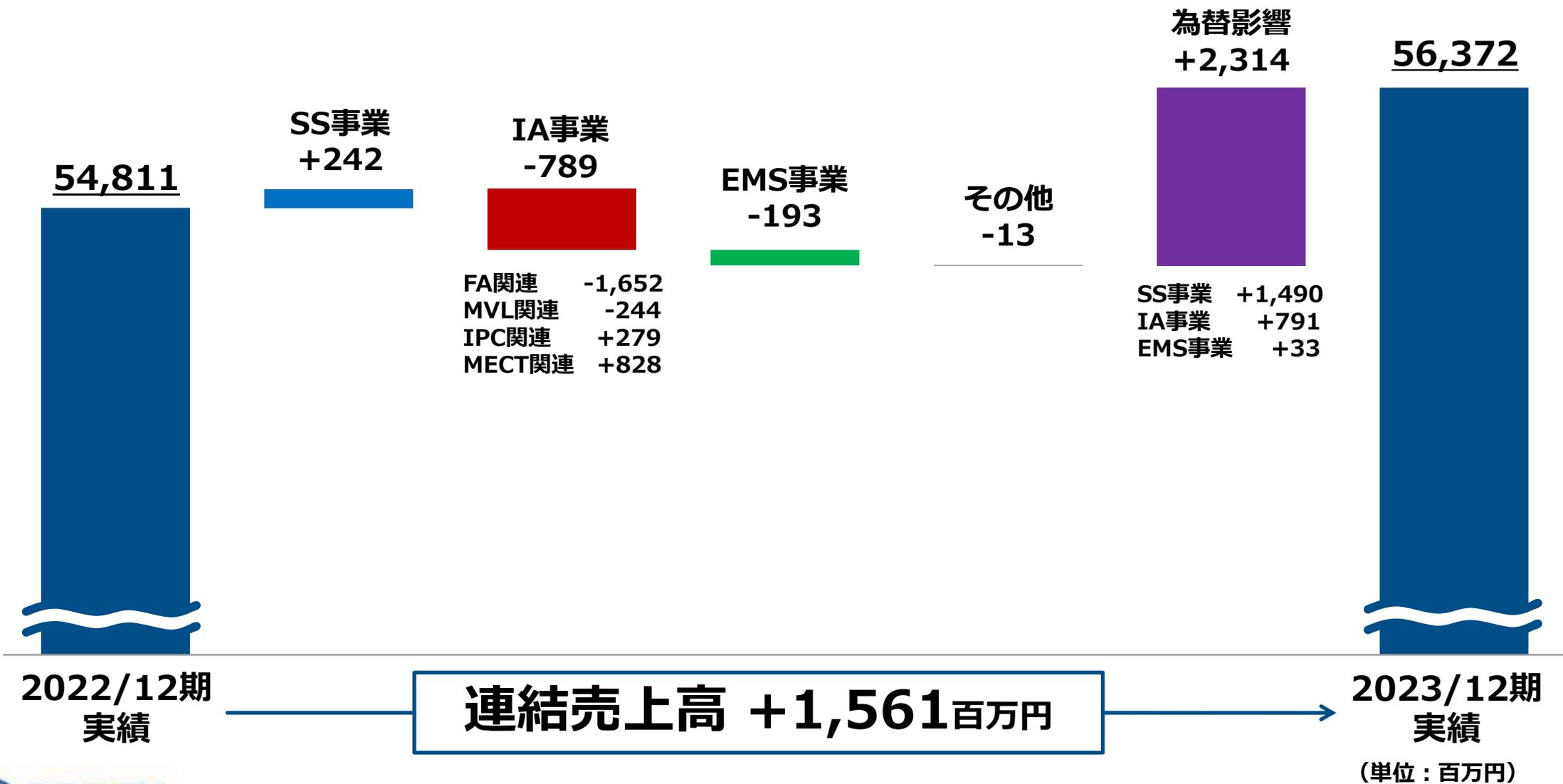
2023年12月期 連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

経営成績 (単位:百万円)	2022/12期 実績		2023/12期 実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	対前年 増減率	営業利益 (営業利益率)	対前年 増減率
SS事業	23,465	2,869 (12.2%)	25,197	+7.4%	3,186 (12.6%)	+11.1%
IA事業	29,738	3,583 (12.0%)	29,741	+0%	3,064 (10.3%)	-14.5%
EMS事業	1,006	400	846	-15.9%	114	-71.3%

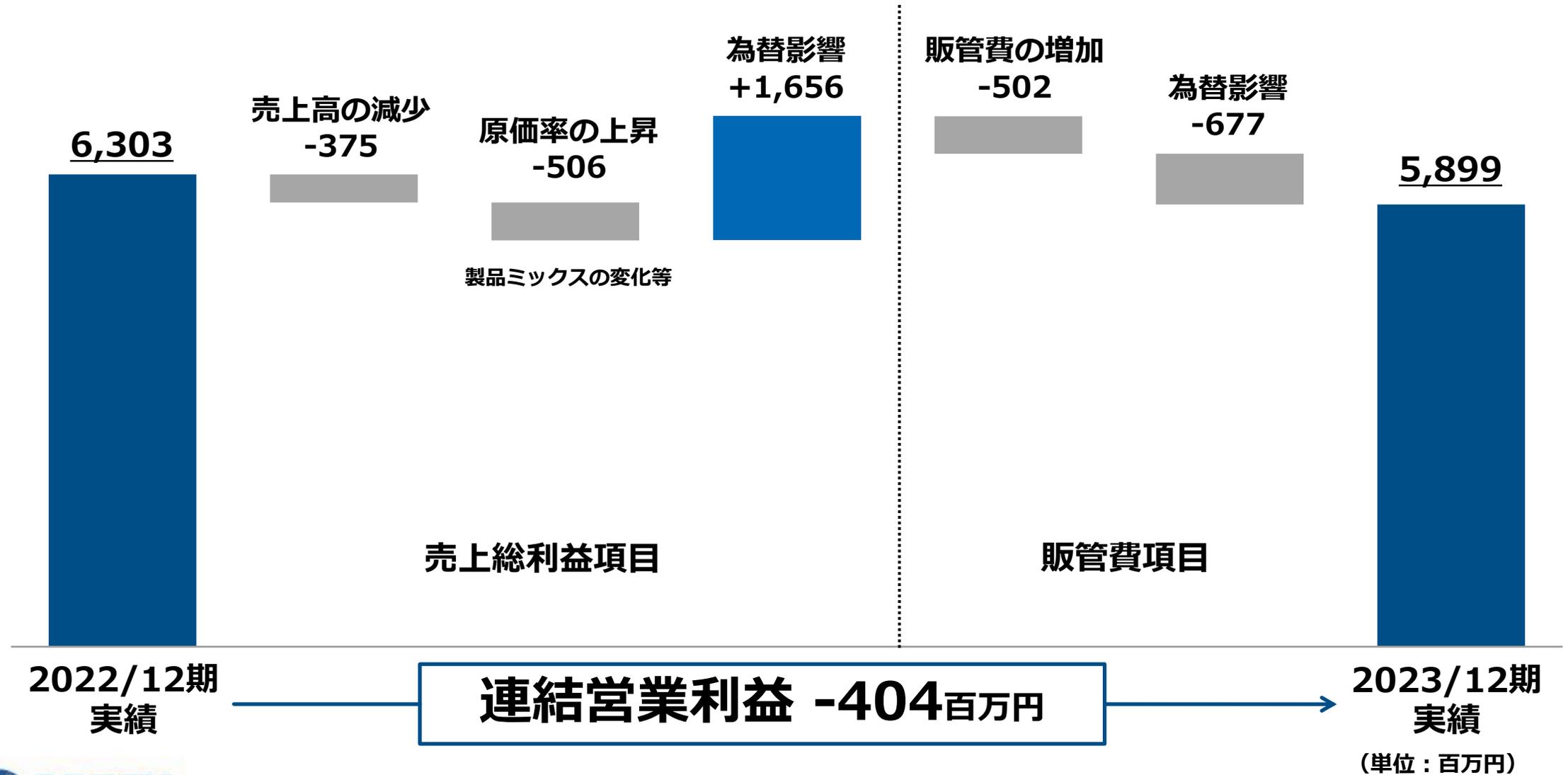
※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。

※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

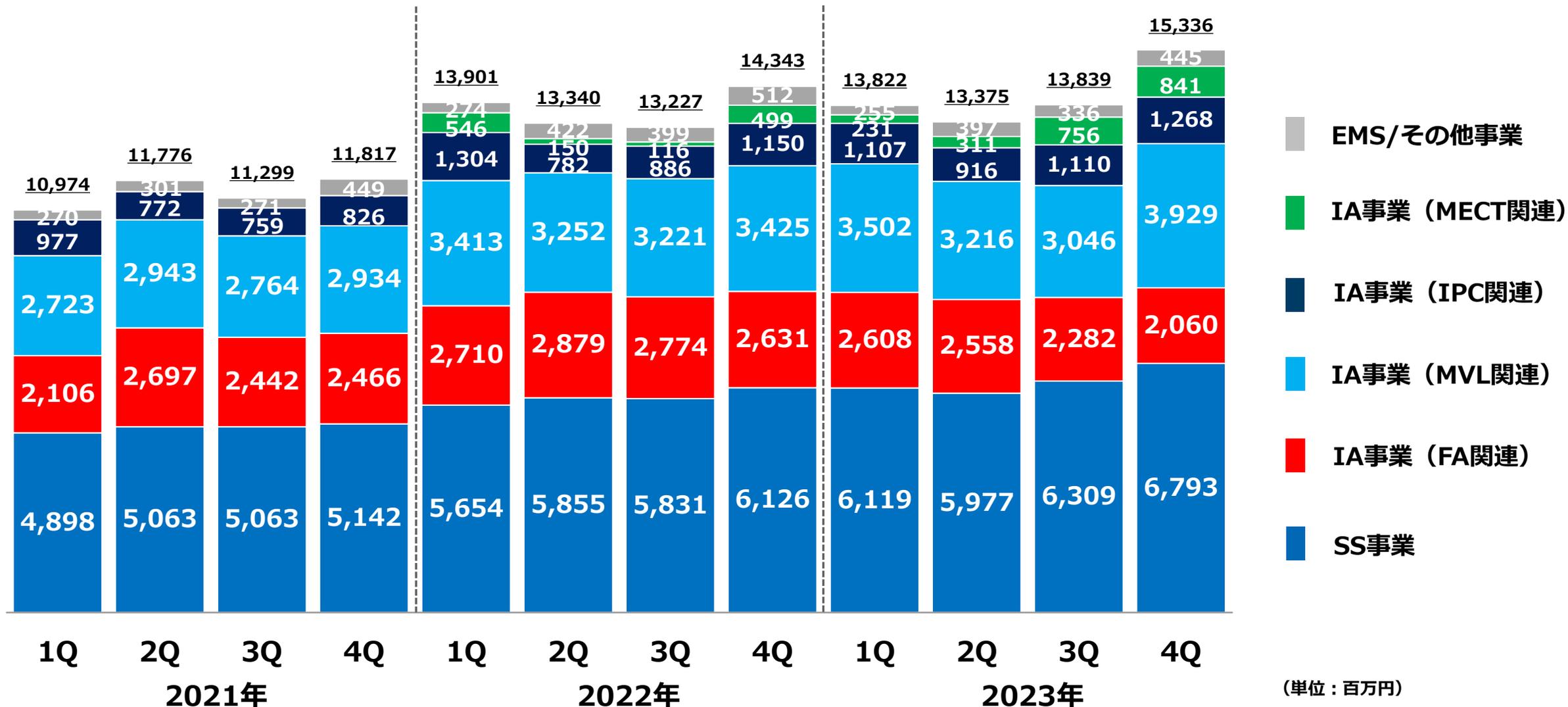
2023年12月期 連結売上高 増減要因（前年度比）



2023年12月期 連結営業利益 増減要因 (前年度比)



連結売上高 四半期推移 (2021-2023年)



(単位：百万円)

セグメント・SS事業（防犯関連）

地域	2023/12期 業績のポイント
日本	・ダイレクトマーケティング戦略による営業力の強化で警備会社および大型重要施設向けの販売が伸長
米州	・ダイレクトマーケティング戦略による営業基盤の強化で既存・新規顧客からの引合い・受注が増加
欧州	・インフラ施設向けでレーザースキャンセンサーの販売が堅調 ・住宅および事業所向けでセンサー付きカメラの販売が順調に拡大
アジア	・タイ、インドで屋外警戒用センサーの販売が堅調

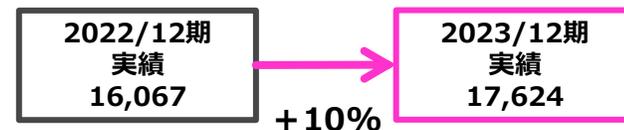
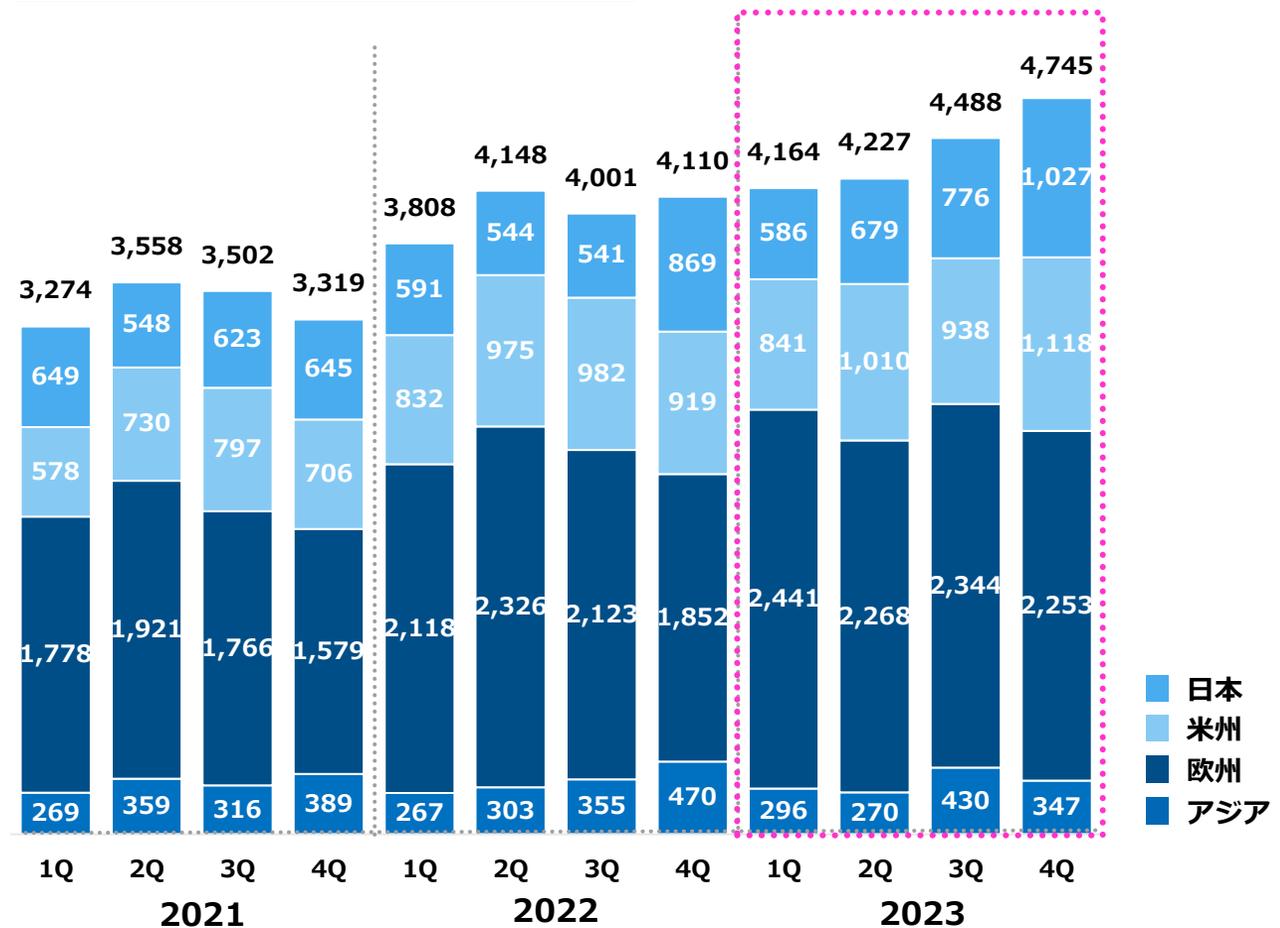


大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

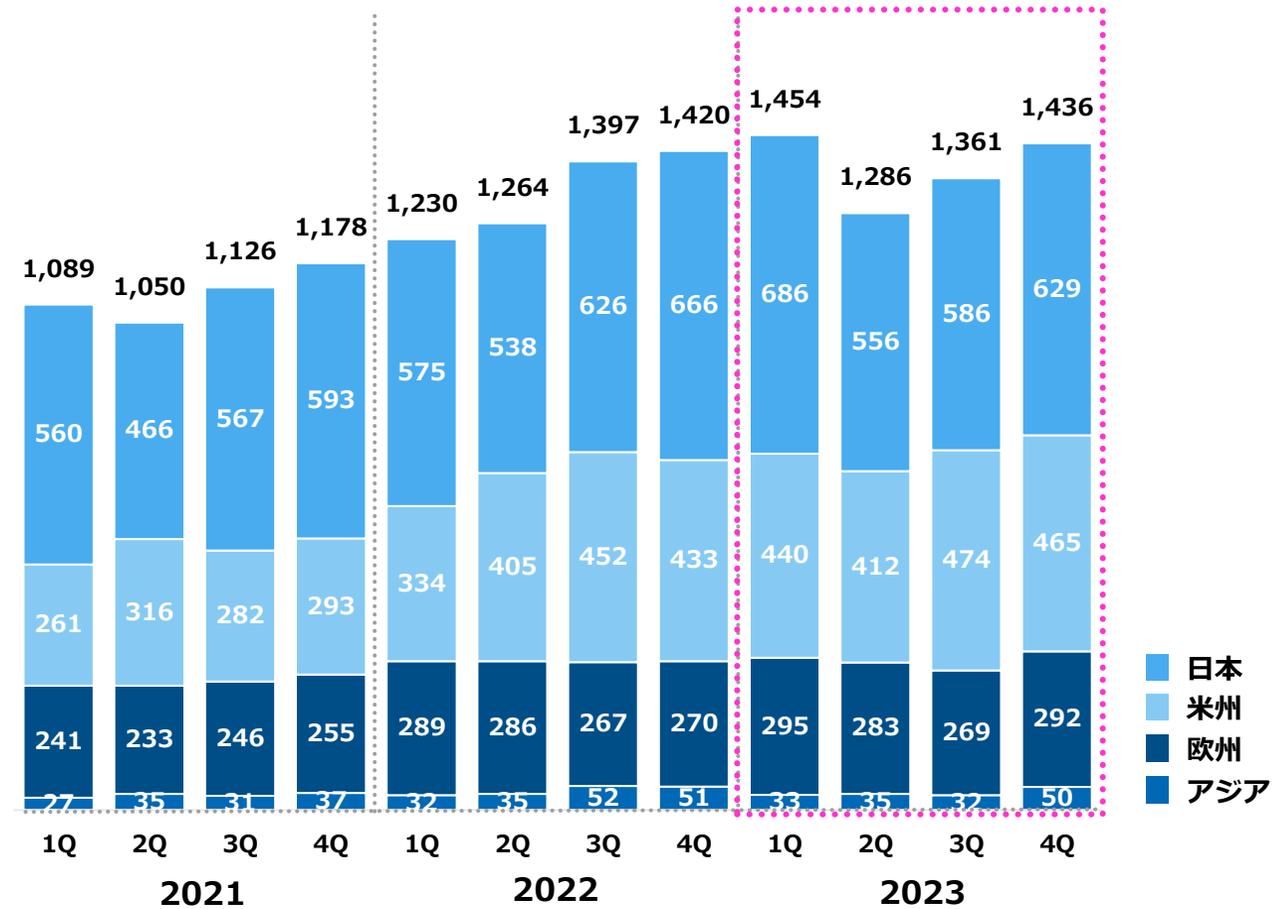
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



セグメント・SS事業（自動ドア関連）

地域	2023/12期 業績のポイント
日本	・自動ドア用センサーおよびシャッター用センサーともに販売が堅調
米州	・自動ドア用センサーおよびシャッター用センサーともに販売が堅調 ・大手自動ドアメーカー向け新製品が貢献
欧州	・景況感の悪化による顧客の在庫調整の影響で需要が減少

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



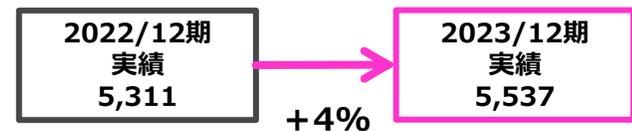
自動ドア用センサー



タッチスイッチ



シャッター用センサー

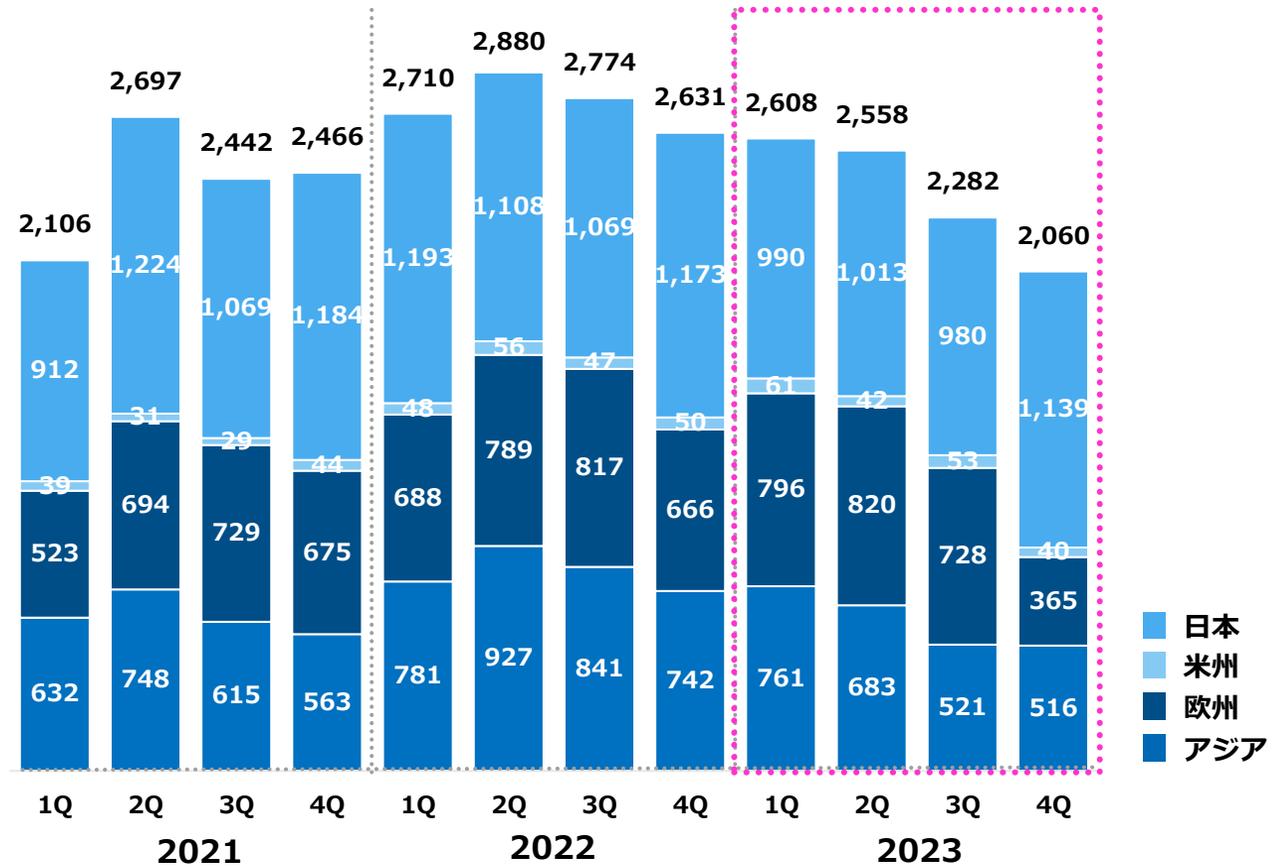


セグメント・IA事業（FA関連）



地域	2023/12期 業績のポイント
日本	・顧客の設備投資延期および在庫調整の影響により、半導体関連向けの販売が伸び悩む
欧州	・設備投資抑制の影響で主要顧客が在庫調整、汎用・変位センサーの販売が低調
アジア	・中国で二次電池向けの設備投資抑制が継続、変位センサーの販売が伸び悩む

地域別・四半期売上高（単位：百万円）



変位センサー



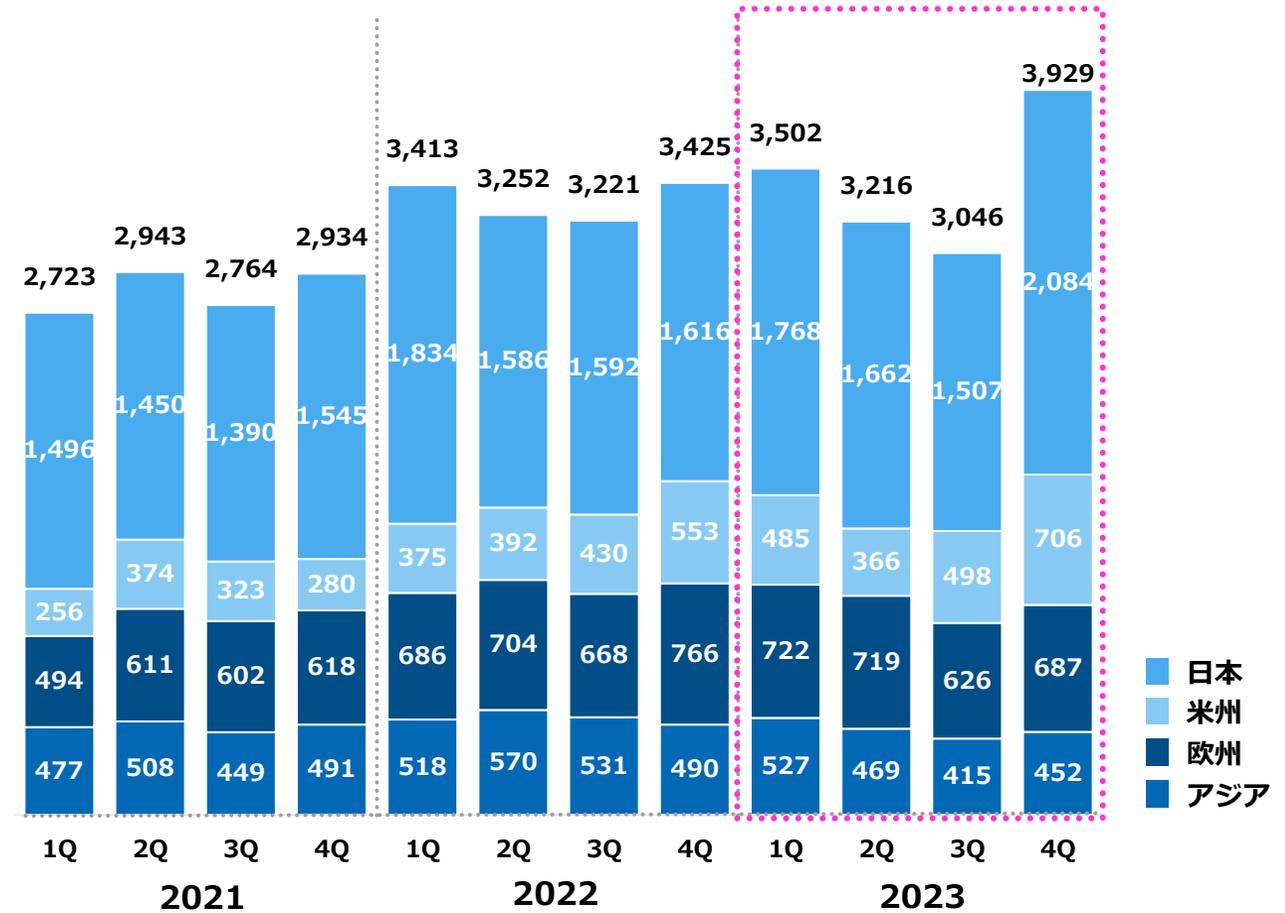
IO-Linkマスタ



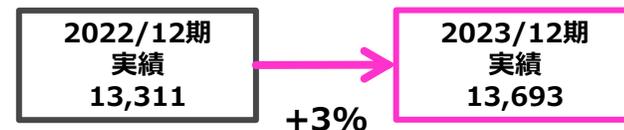
セグメント・IA事業 (MVL関連)

地域	2023/12期 業績のポイント
日本	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の設備投資需要の回復により半導体・電子部品向け、EV関連向け販売が堅調に推移 プライベート展示会を積極的に開催し新規案件の引き合い、受注が増加
米州	<ul style="list-style-type: none"> フランス子会社製品で物流業界向け、EV関連向け販売が順調に拡大
欧州	<ul style="list-style-type: none"> フランス子会社製品で物流業界向けの販売が堅調に推移
アジア	<ul style="list-style-type: none"> 中国で半導体関連向けの販売が伸び悩む

地域別・四半期売上高 (単位: 百万円)



画像検査用LED照明



セグメント・IA事業（IPC関連）

地域	2023/12期 業績のポイント
日本	・半導体製造装置向けの販売が堅調

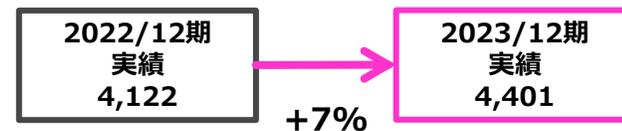
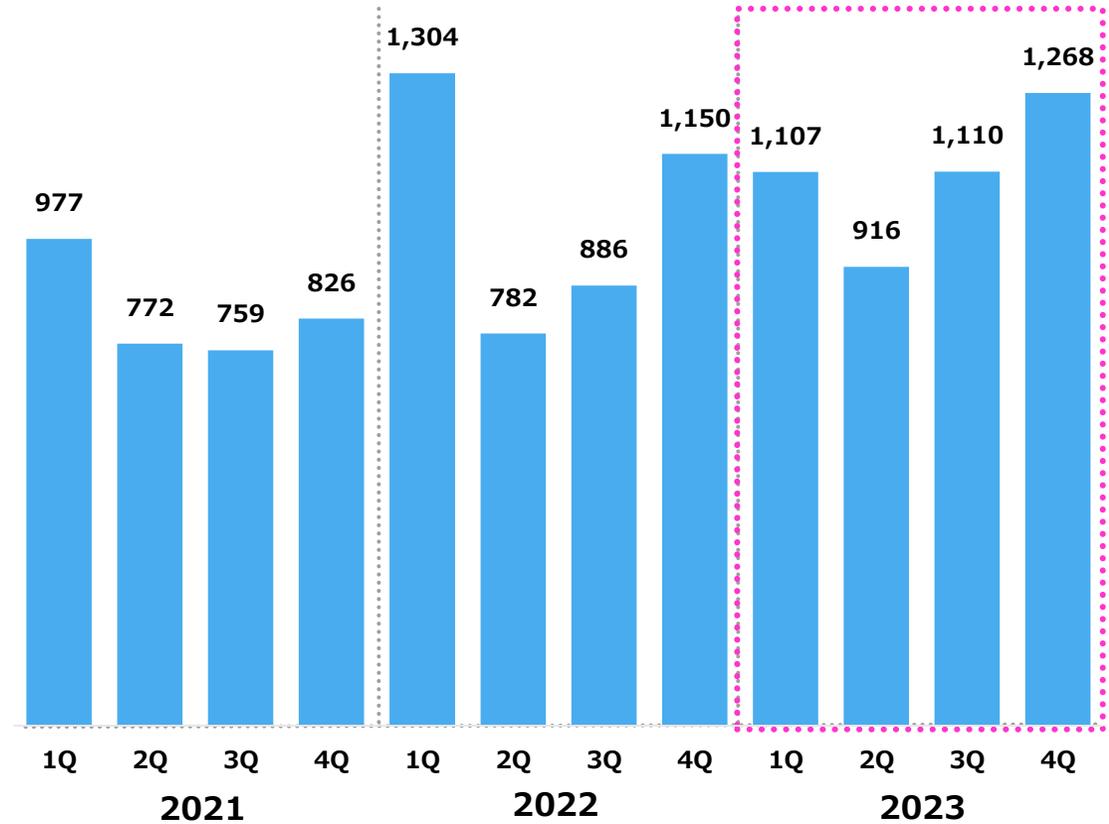
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



産業用コンピュータ



追尾用カメラ



セグメント・IA事業（MECT関連）

地域	2023/12期 業績のポイント
日本	・二次電池製造装置の納入が順調

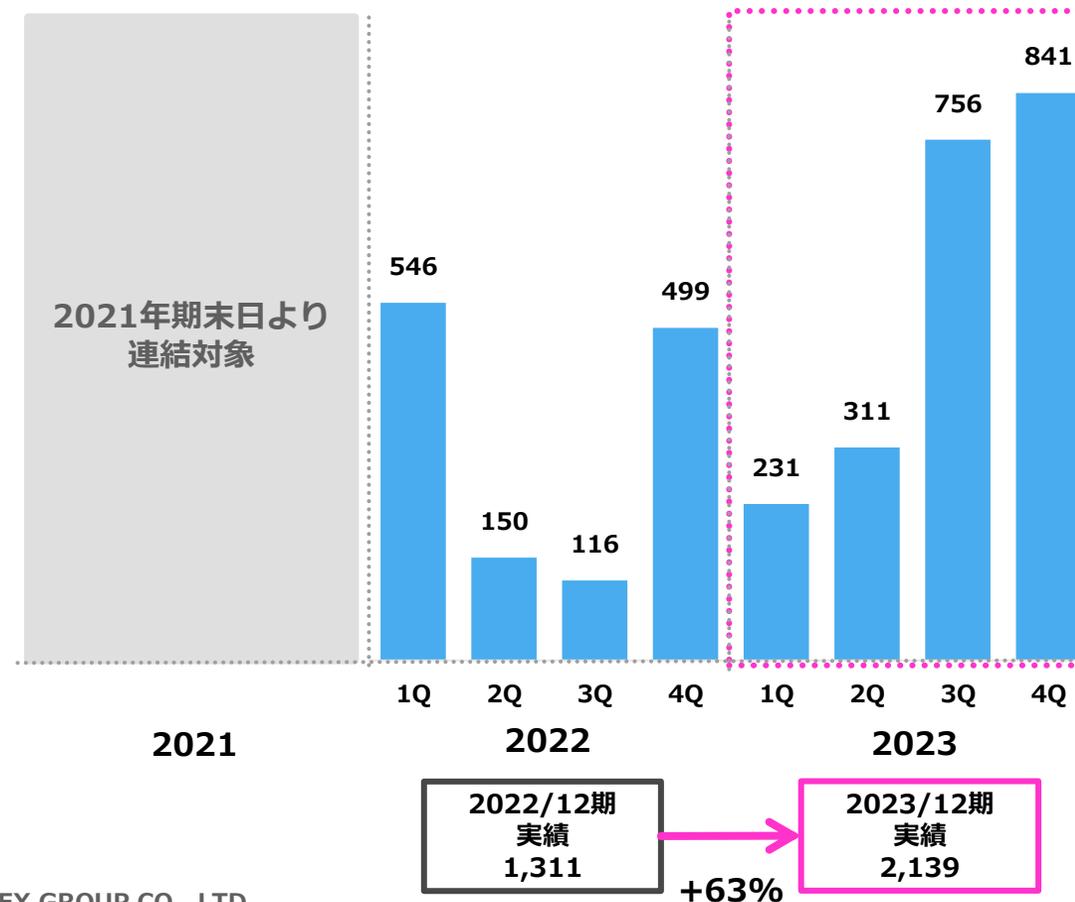
地域別・四半期売上高（単位：百万円）



電気自動車・ハイブリッド車向け
二次電池製造装置



画像処理検査装置



1. 2023年12月期決算概要

2. 2024年12月期業績予想

3. 3カ年（2024-26年）の経営計画

4. 新体制について

2024年12月期 事業環境認識

SS 事業	防犯	インフレ・金利高の収束に伴う、欧米の投資抑制、在庫調整の一巡を期待。防犯システムの省人化、IoT化の進行を背景とした需要増加の取り込みを強化
	自動 ドア	インフレ・金利高の収束に伴う、欧州の投資抑制、在庫調整の一巡を期待。安全対応、環境貢献製品の需要増加を背景に日本、米国で堅調継続する見込み

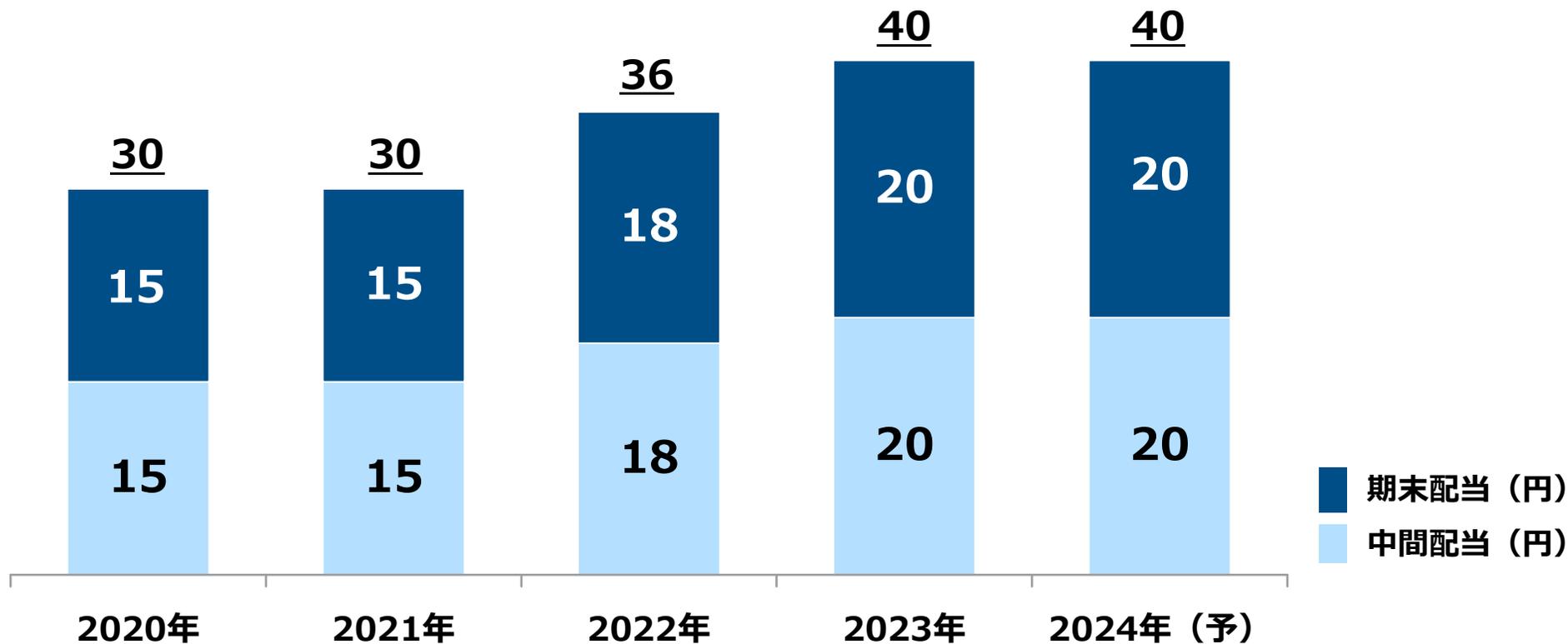
IA 事業	FA	欧州は設備投資抑制、在庫調整の一巡を期待。中国は調整基調が継続し、緩やかな回復を見込む。自動化・省人化の潜在需要の掘り起こしに傾注
	MVL	半導体・電子部品の微細化・検査工程の複雑化の進行を背景に、国内外でソリューション販売の拡大を見込む
	IPC	半導体製造装置市場は落ち込みからの回復が見込まれており、産業用PCの販売も堅調継続する見込み
	MECT	EV普及を背景に、二次電池製造装置の需要が増加し、堅調継続する見込み

2024年12月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)		2023/12期 通期実績	2024/12期 通期予想	対前年 増減率
売上高		56,372	61,000	+8.2%
営業利益 (営業利益率)		5,899 (10.5%)	6,600 (10.8%)	+11.9%
経常利益		6,258	6,600	+5.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益		4,608	5,000	+8.5%
1株当たり 当期純利益 (円)		129.73	140.75	
為替レート (円)	1USD	140.56	140.00	
	1EUR	152.00	150.00	

株主還元

配当性向30%を目処に、経営基盤強化と安定配当のバランスを勘案した株主還元を実行



配当性向	77.7%	28.8%	26.9%	30.8%	28.4%
ROE	4.3%	11.2%	12.8%	11.1%	-

自己株式取得
10億円 (63万株)

1. 2023年12月期決算概要
2. 2024年12月期業績予想
- 3. 3カ年（2024-26年）の経営計画**
4. 新体制について

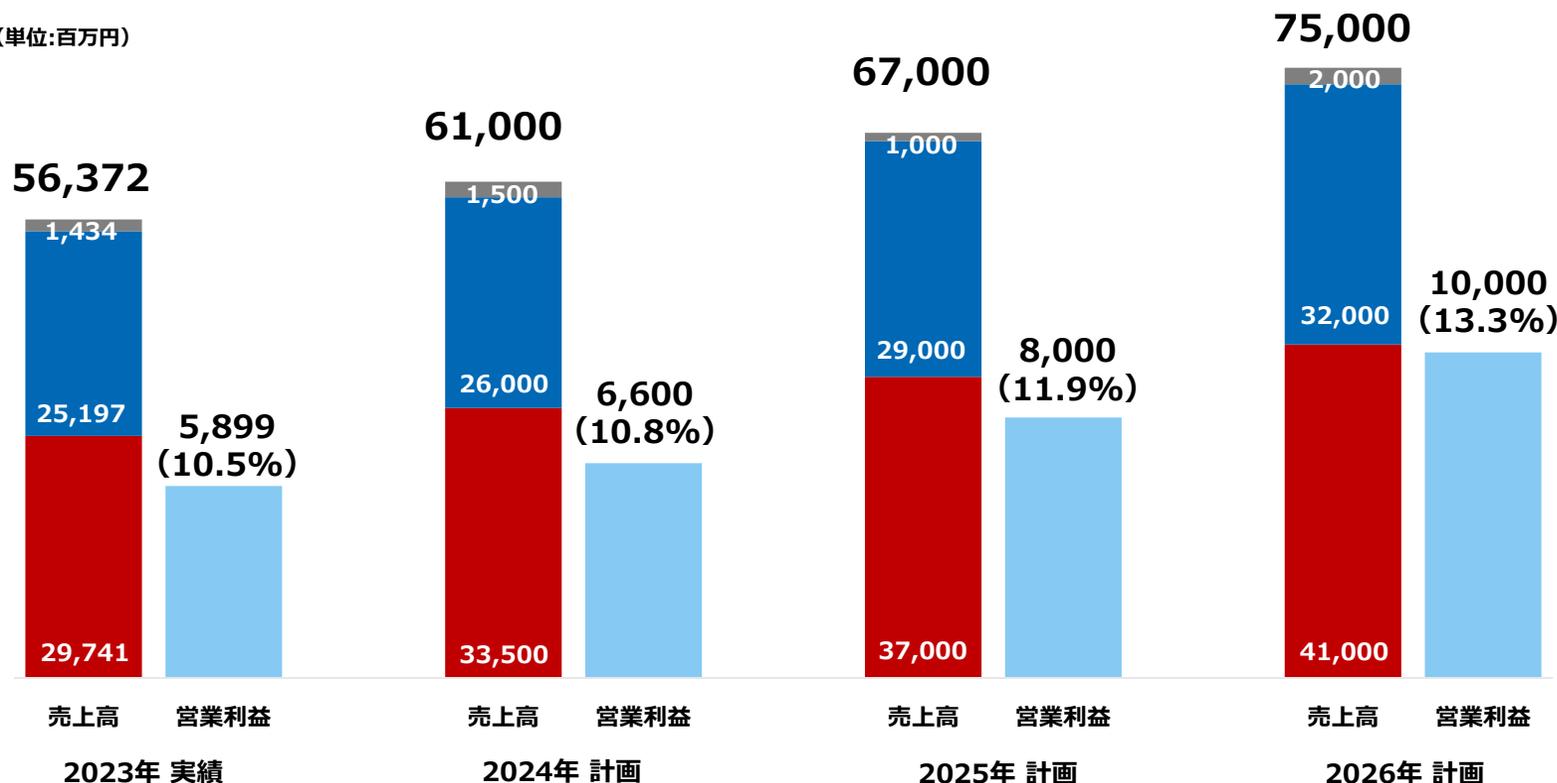
3カ年（2024-26年）の経営計画

2023年は、IA事業の一時的な減速により、売上高・営業利益共に修正計画を下回り着地。

2024年は、高収益製品の販売を再強化し、営業利益の拡大を目指す。

ソリューション提案ビジネスへの移行を加速し、営業利益率の向上を目指す。

(単位:百万円)



オプテックスグループ経営指標 (目標)

売上高成長率	10%伸長
営業利益率	15%以上
ROE	10%以上

売上高

- EMS/その他事業
 - SS事業
 - IA事業
 - 営業利益
- (%:営業利益率)

主力事業の成長戦略を推進

SS事業（防犯関連）



画像確認ソリューション及び
事業所・施設向けに積極投資
ダイレクトマーケティングによる
既存市場の深耕・新市場の開拓

SS事業（自動ドア関連）



新製品拡充と積極投資により
欧米市場でシェア拡大
遠隔モニタリングサービス、
オムニシティによる市場開拓

IA事業（FA関連）



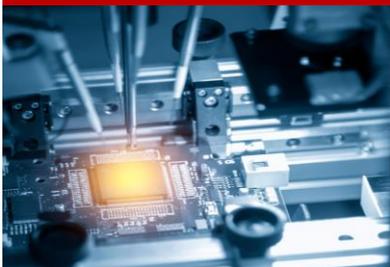
直接コンサルティング・マーケ
ティングを推進し顧客数を拡大
IO-Linkマスタを中心とした
ソリューションを提供

IA事業（MVL関連）



トータルソリューションベンダー
への進化
世界に「見える!」×「出来る!」
を実現するソリューションを提供

IA事業（IPC関連）



半導体製造装置向け産業用PCの
安定供給体制の確立
監視システム、無線見える化
システム等、新事業開拓

IA事業（MECT関連）



二次電池製造装置の安定供給
体制の確立
外観検査ソリューション等、
新事業開拓

1. 2023年12月期決算概要
2. 2024年12月期業績予想
3. 3カ年（2024-26年）の経営計画
- 4. 新体制について**

新体制について

持続的な企業価値向上に向け次世代の経営メンバーで長期ビジョンの実現を目指します。



代表取締役社長
中島 達也
(57)



代表取締役副社長
上村 透
(63)



【新任】取締役兼CFO
山名 幸輝
(58)



社外取締役
吉田 和弘
(63)



社外取締役
根岸 祥子
(54)



【新任】取締役 監査等委員
奥野 雅也
(59)



社外取締役 監査等委員
木田 稔
(53)



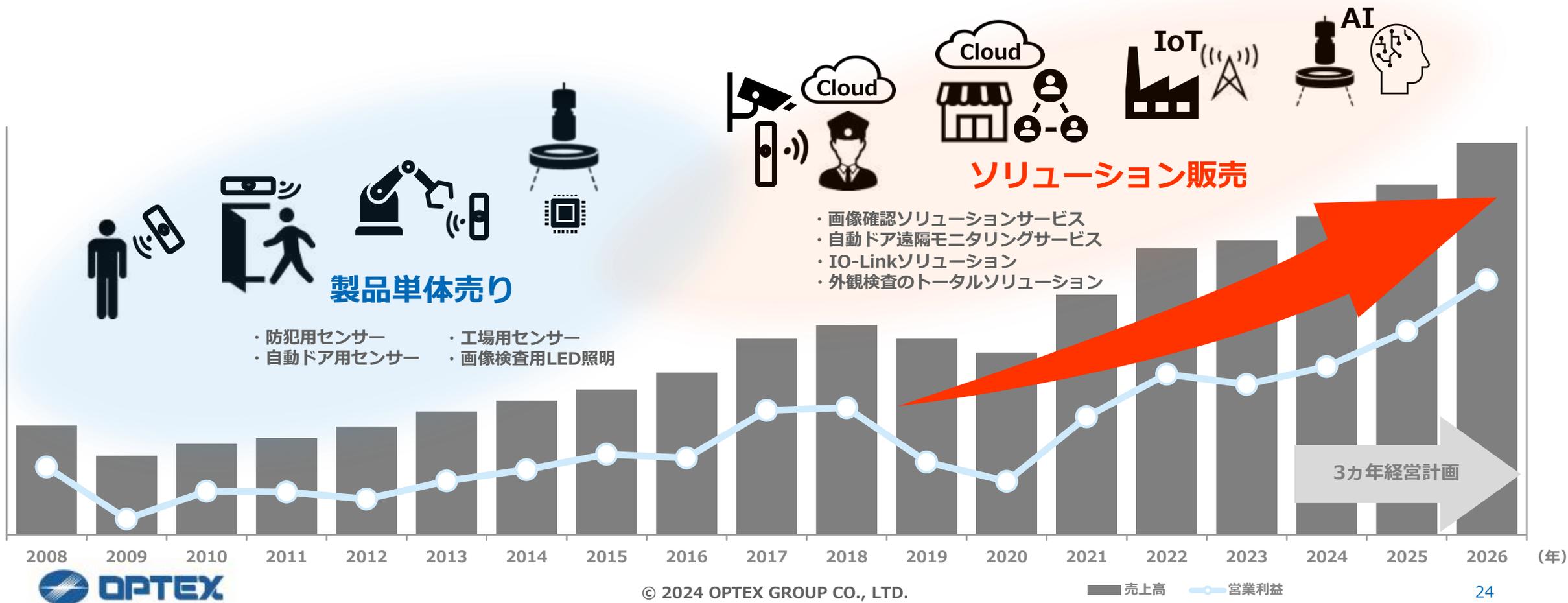
【新任】社外取締役 監査等委員
飯島 敬子
(58)

※ 2024年3月27日開催予定の第45回定時株主総会
および取締役会にて決議予定

※ () は2024年3月27日時点の年齢

成長イメージ

市場、顧客ニーズの変化に対応したソリューション販売へのシフトを加速



<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	56,372百万円
営業利益	5,899百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 プライム上場 6914
連結従業員数	2,353名 (数値：2023年12月期実績)

オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

オプテックスグループ

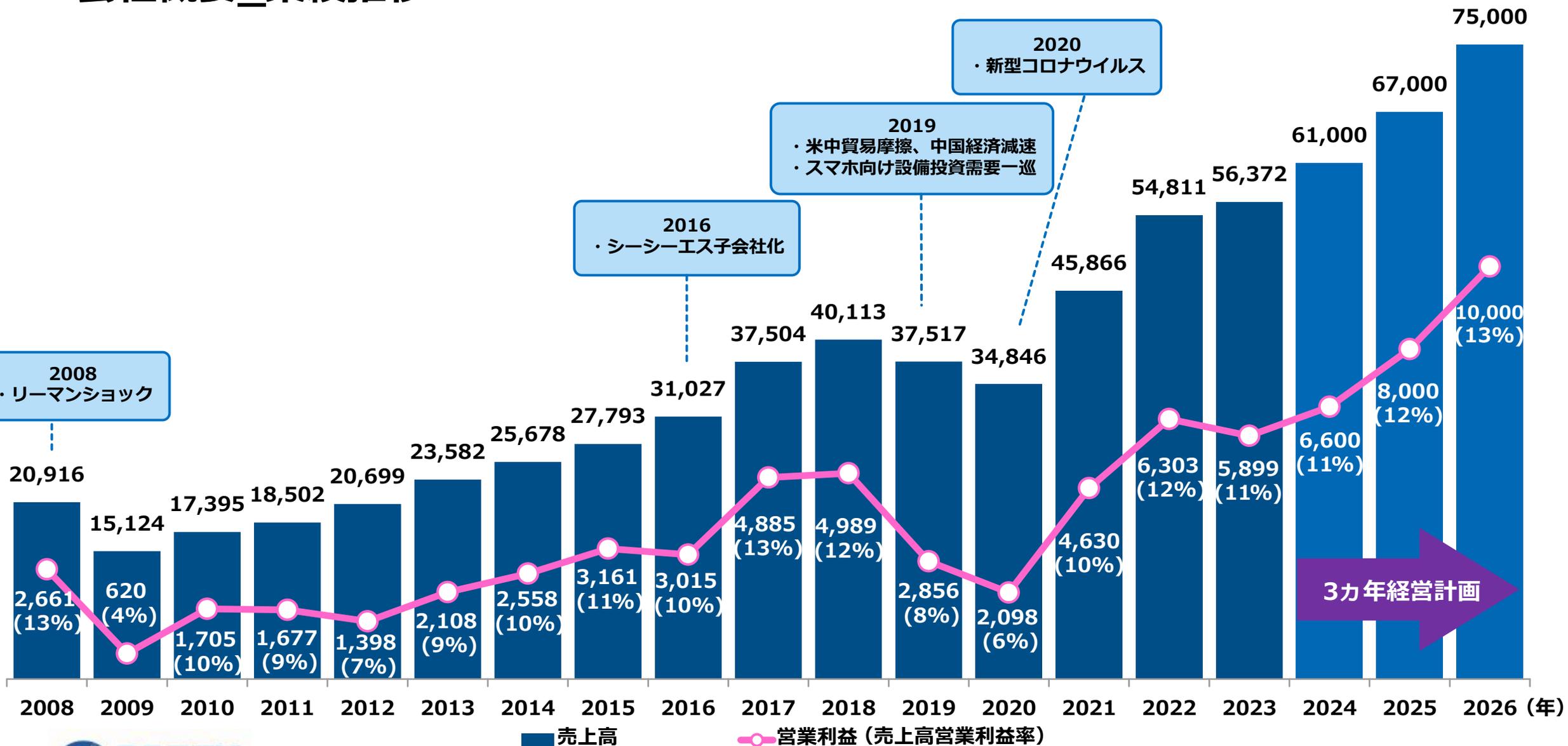
OPTEX

OPTical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)



会社概要_業績推移



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（旧JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2020年 サンリツオートメイション株式会社を子会社化
- 2021年 ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像検査用LED照明



オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 プライム上場 証券コード : 6914)

オプテックス株式会社



防犯用・自動ドア用等
各種センサーの
開発・販売

SS事業

オプテックス・
エフエー株式会社



ファクトリーオート
メーション用センサーの
開発・販売

シーシーエス株式会社



画像検査用LED照明の
開発・製造・販売

サンリツオート
メイション株式会社



産業用コンピュータの
開発・製造・販売

ミツテック株式会社



ファクトリーオート
メーション用自動化設備
及び画像処理検査装置の
開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・
エムエフジー株式会社



グループ製品の製造・
電子機器受託生産

株式会社スリーエース



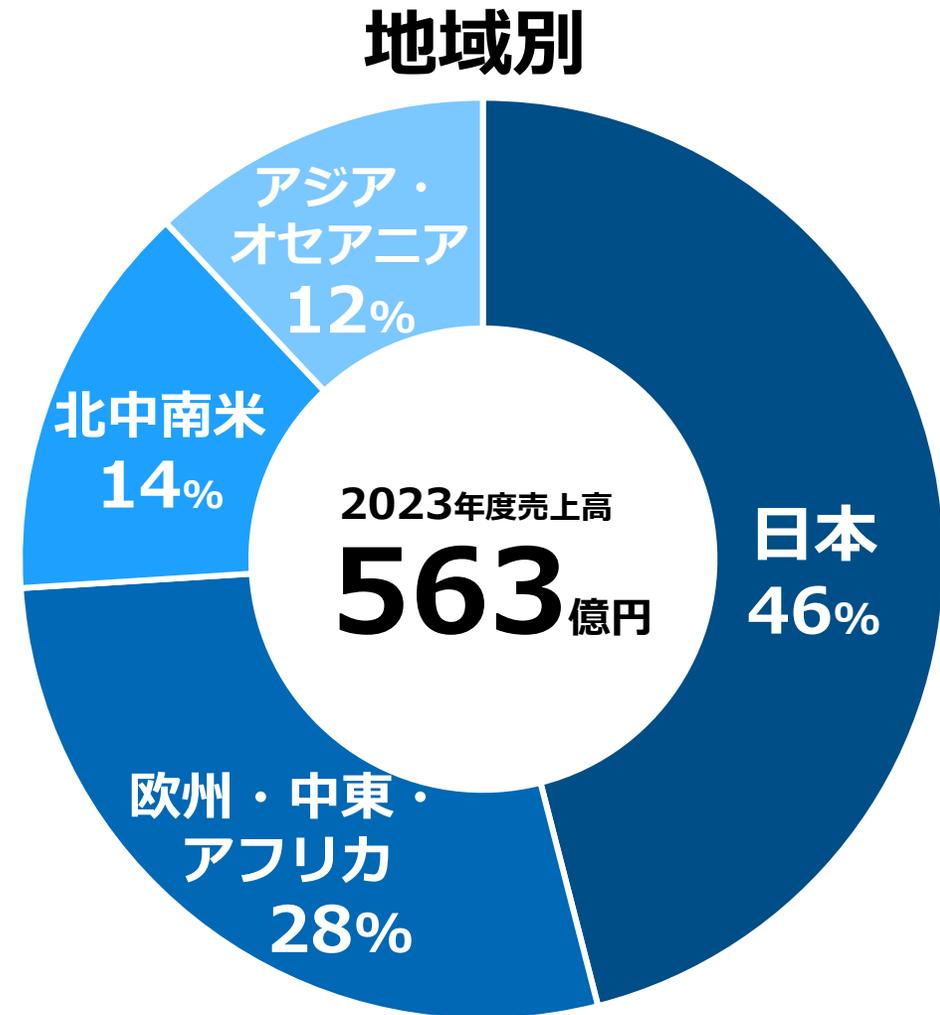
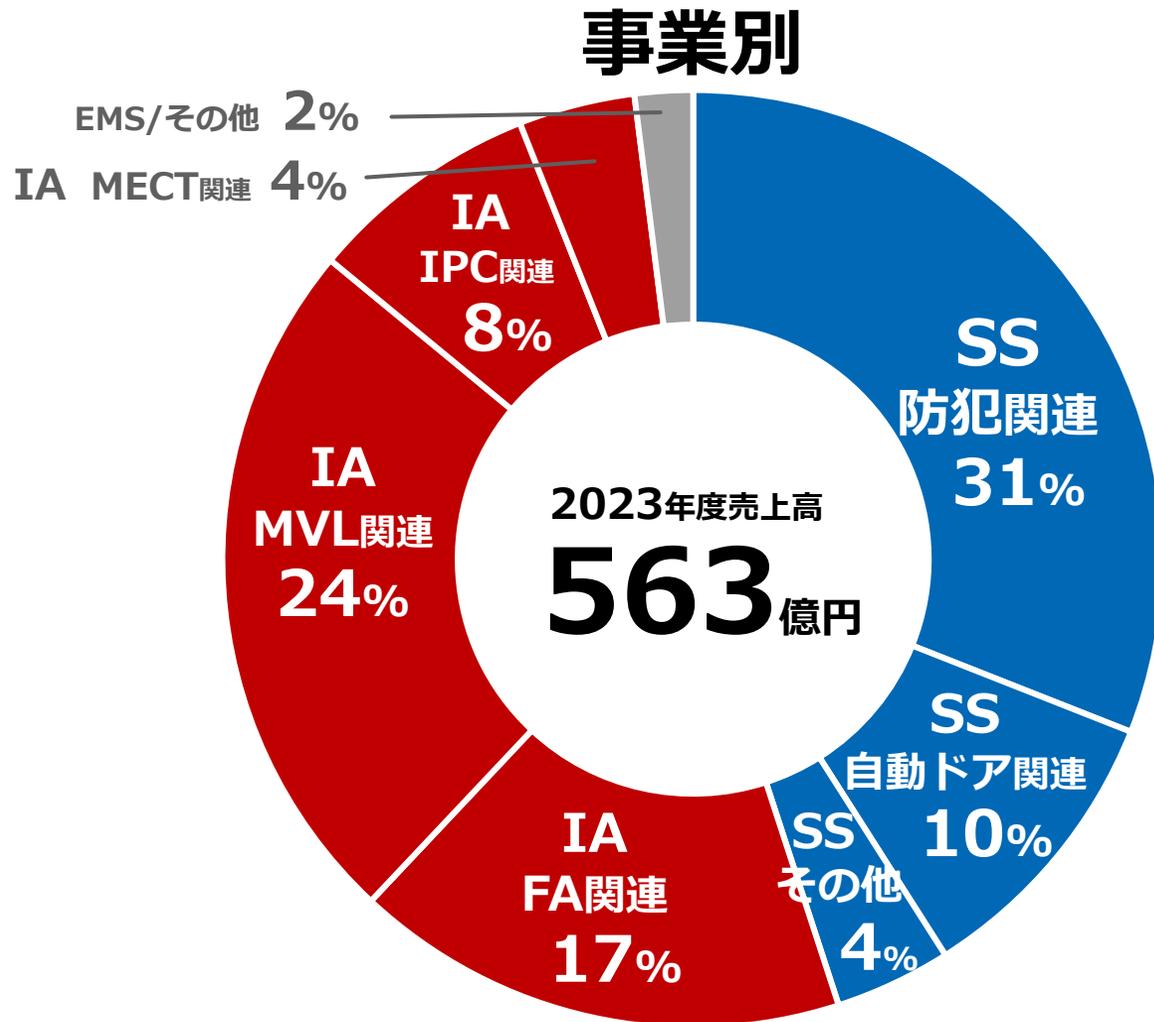
各種システム及び
アプリケーション・
デジタルコンテンツ開発

オーパル
オプテックス株式会社



アウトドアアクティビティ
及び環境体験学習の運営

会社概要_売上構成比



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



シャッター用センサー

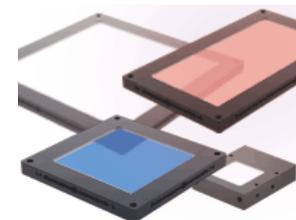


タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明

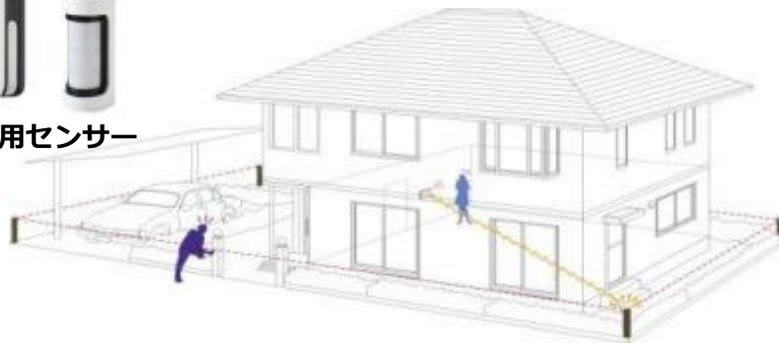


各種LED照明

事業概要_SS事業（防犯関連）防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



【警備会社】
駆け付けサービス



欧米では警察が駆け付け

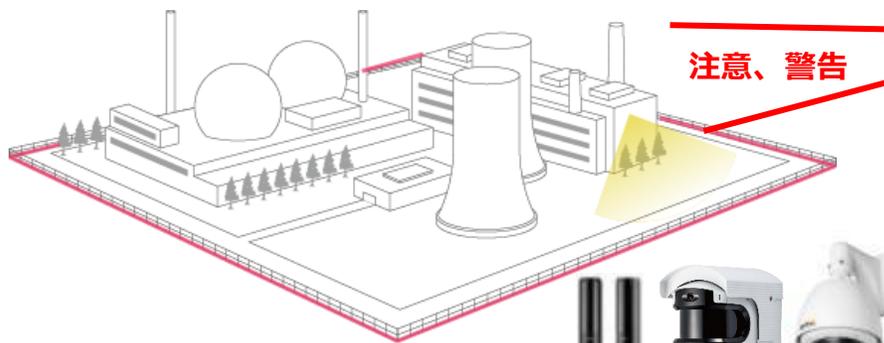
高級住宅（海外）



オフィス



大型重要施設



【警備員室】
画像監視



屋外用センサーと
監視カメラが連動

発電所・石油インフラ施設



空港



事業概要_SS事業（自動ドア関連）自動ドアセンサー

国内シェア50%以上、海外シェア20%

1980年、当時はまだ軍事用途が中心だった赤外線を、自動ドアセンサーに応用しました。



マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機



赤外線センサー（頭上）

ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



病院



工場、倉庫用シャッター



フォークリフトを確実に検知

事業概要_IA事業 (FA関連) 工場用センサー



工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

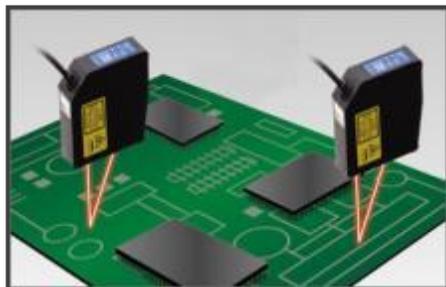
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け (食品、医薬品、化粧品)



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

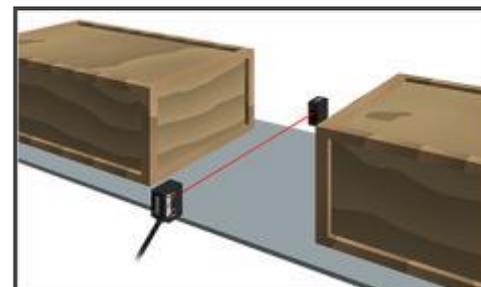


牛乳の賞味期限印字検査

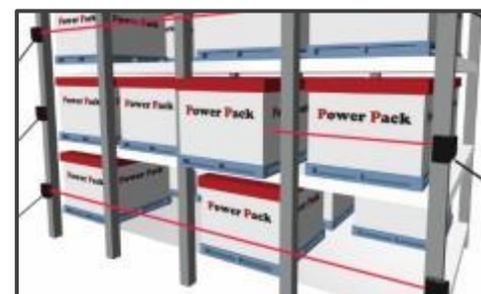
光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



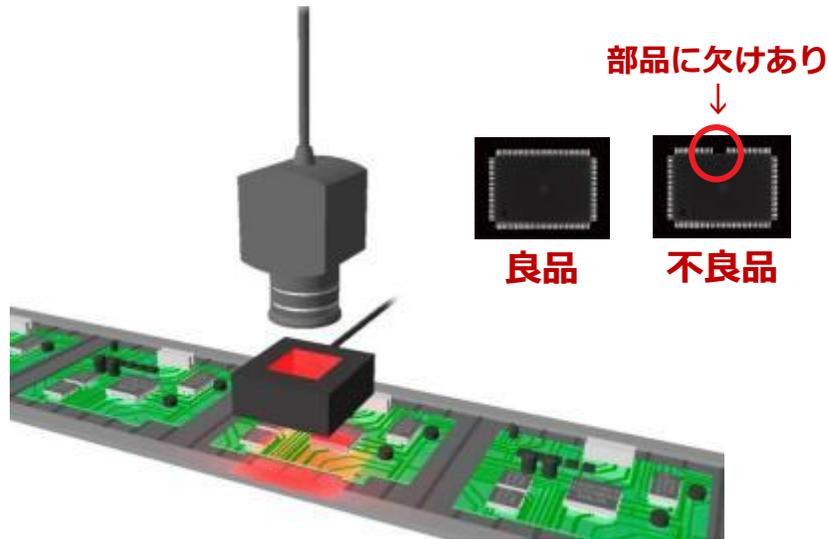
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_IA事業 (MVL関連) 画像検査用LED照明

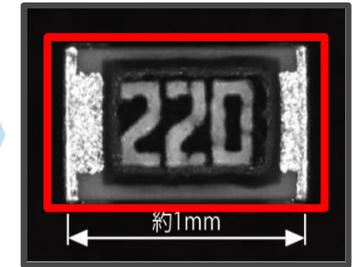
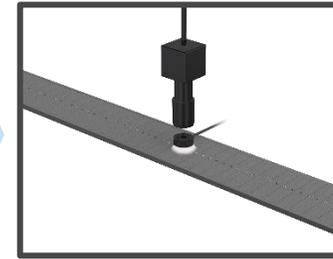
CCS は1993年設立の、LEDを活用した検査用照明メーカー

検査用照明とは？※

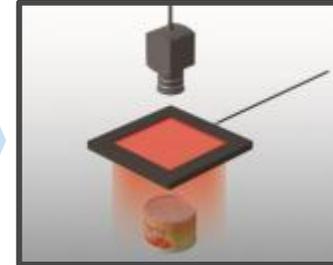
工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



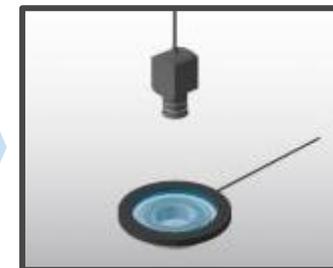
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と言います。

事業概要_IA事業 (IPC関連) 産業用コンピュータ

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

半導体製造装置や医療・通信などの
コンピュータ・プラットフォームを提供



生産・社会インフラシステム

生産現場や社会インフラの
課題を解決するシステムを提供



先進計測・制御システム

ロボットなど、計測・制御用の
先進システム製品を提供



自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等

→ 厳しい要求水準に対応した高品質



設立以来、2次電池製造装置等の自動化装置の開発を手掛ける

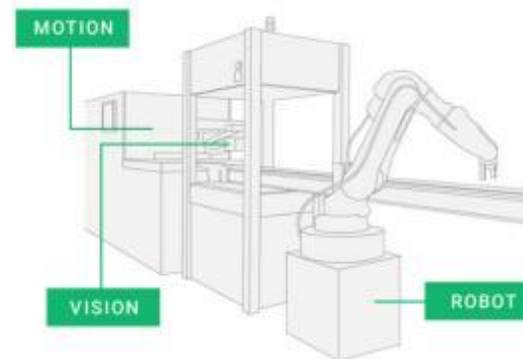
画像処理検査／計測装置

モノを動かす
「Motion技術」

×

モノを視る
「Vision技術」

→ 最適なソリューションを提供



お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築

ESGの取り組み

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください（[レポートはこちら](#)）。



Environment (環境)

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】

「2030年までに2019年度比CO2排出量を30%以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】

環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドアセンサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



Social (社会)

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス㈱、オプテックス・エフエー㈱の2社が「健康経営優良法人」に認定。



Governance (ガバナンス)

企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役6名（男性5名、女性1名）と、豊富な監査経験、弁護士、公認会計士・税理士の資格を有する等、高い見識と知見を有する監査等委員である取締役3名（男性3名）で構成されています。（2024年2月14日現在）



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

<https://www.optexgroup.co.jp/>